

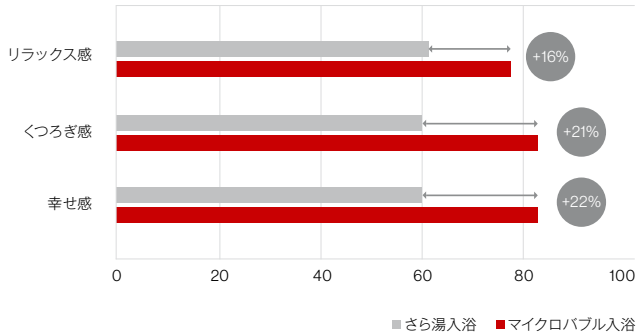
マイクロバブルバスユニットで 体感する驚きの効果

リラックス効果

通常の入浴においても、温浴効果により心理的な緊張をやわらげる効果があることが報告されています。マイクロバブル入浴は通常の入浴よりも、リラックス感、くつろぎ感、幸せ感が高まるという結果が出ました。

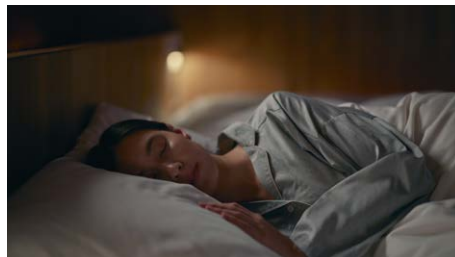
<実験条件>
測定: VAS法(視覚的アナログ尺度)を用いた解析
論文: 2020年、マイクロバブル入浴の心身の主観的評価
(早坂信哉:日本健康開発雑誌:2020年 被験者:成人女性11名)

リラックス効果に関する主観的評価の比較 (VASスコア)

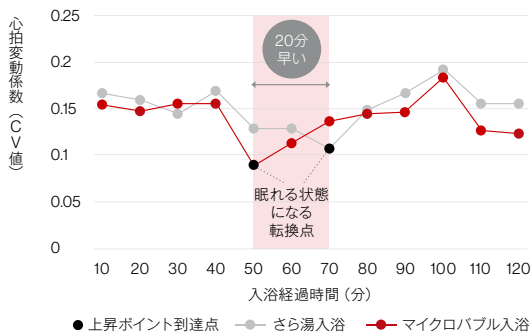


入眠環境サポート

マイクロバブル入浴によって、さら湯と比べて、リラックス状態へより早く移行することが期待できます。入浴後は、よりリラックスした状態で入眠前の時間を過ごせる可能性があります。

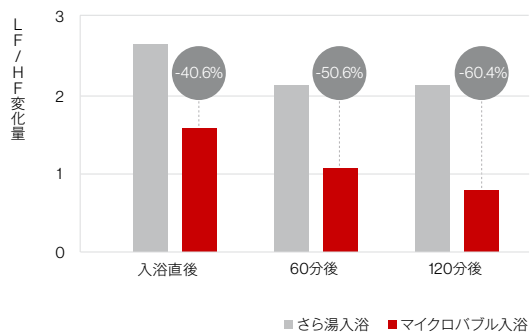


心拍変動係数 (CV値)*の時系列変化の比較



<実験条件>
2022年度 慶應義塾大学 満倉 晴恵 教授と(株)電通サイエンスジャム、リンナイ(株)の共同研究
測定:心拍測定器
学会発表:生体情報に基づくマイクロバブル入浴効果の評価(計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2022) 被験者:成人男女12名

LF/HF(緊張度)の比較



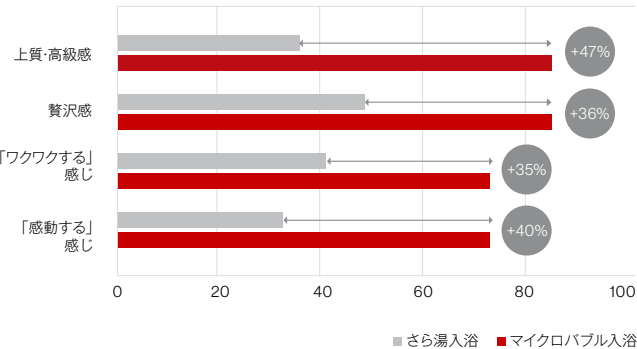
*心拍変動係数 (CV値) は、副交感神経機能の指標と考えられており、自律神経機能の簡易評価に用いられます。

ワクワクや感動

白濁したお湯は温泉に入っているようだという意見が多数寄せられました。温泉を連想させる乳白色のお湯が、上質感、贅沢感、ワクワクする、感動するなどの心理的影響につながっていると考えています。

<実験条件>
測定: VAS法(視覚的アナログ尺度)を用いた解析
論文: 2020年、マイクロバブル入浴の心身の主観的評価
(早坂信哉:日本健康開発雑誌:2020年 被験者:成人女性11名)

ワクワクや感動に関する主観的評価の比較 (VASスコア)

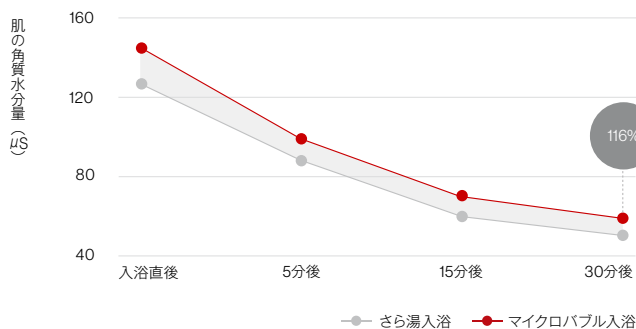


うるおい効果

マイクロバブル入浴はさら湯入浴と比べて、湯上り30分後の肌の角質水分量が116%まで増加。肌のうるおいを持続させることを確認しました。マイクロバブル入浴を体感された方からは、湯ざわりが柔らかい、肌がしっとりする、肌が突っ張る感じが少ない、保湿クリームを塗らなくてもよかったなど、多くの声が挙がっています。



肌の角質水分量変化



<実験条件>

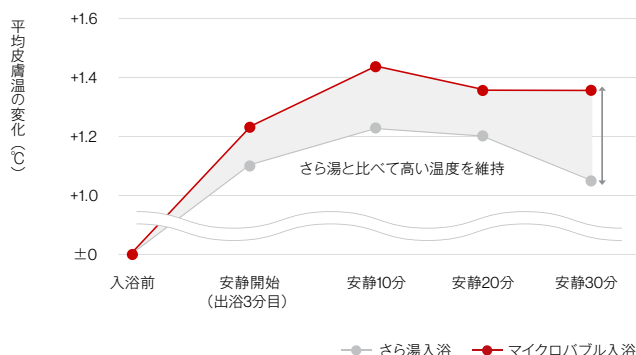
測定:マイクロバブル入浴とさら湯入浴の前後に前腕部の角質水分量を測定
論文:早坂信哉, 岩間優子, 野々山昌生: マイクロバブルバス入浴の角質水分量・保湿への影響, 日本健康開発雑誌, 2022, Vol. 43, p.39-43 (被験者: 成人女性 15名)

温浴効果

気泡が体を包み込むため、お湯から体への熱の伝わりが緩やかになり、ゆっくりと体を温めます。入浴後は高くなった体温を徐々に放出するため、湯冷めしにくくなり、冷え対策も期待できます。



入浴前を基準とした平均皮膚温度変化量の時間経過



<実験条件>

2019年度東邦ガス株式会社と日本福祉大学の研究 / 被験者:健康な30代女性7名 / 浴室環境:室温29°C湿度97% / 入浴方法:湯温40°Cで10分間の全身浴

洗浄効果

微細な気泡が皮膚の汚れに吸着し取り除きます。また毛穴に溜まった皮脂汚れにも気泡が吸着し、かき出すことで肌を清潔に保ちます。実証試験でもマイクロバブル入浴の方が通常の入浴より汚れの除去率が高いという結果が出ています。

<実験条件> 2019年度リンナイ株式会社 試験データ

模擬汚れ(牛脂とカーボンブラック10%の混合物)を腹部に塗布し、色彩色差計にて入浴前後に明度を測定。入浴前後の明度値から除去率を算出。
被験者:健康成人男性6名 / 入浴方法:38°Cで10分間の全身浴 / *有意確率5%未満で統計的有意差あり。

固形汚れの除去率

